



# 図書日和

2019年11月号  
鹿児島中央高等学校図書館  
令和元年11月22日発行

読書週間中には、いろいろな方法による本の紹介などを行い、たくさんの人に読書や本に親しんでもらいました。みなさんの心に残る本との出会いがあったでしょうか。これから秋も深まり読書には最適な季節ですので、卒業考査や中間考査後には、本を手にも自分を見つめる時間をつくってみましょう。

## 私が薦める一冊の本

体育科

常盤篤史 先生

### 『坂の上の雲』

司馬遼太郎 著

文藝春秋

中央高校生必読の書。

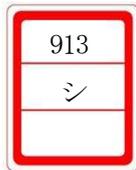
私がこの作品に出会ったのは、高校一年の時である。母校の校訓を書いた「東郷平八郎」に興味をもち、歴史好きな父の本棚から借りて読んだ。読了以来、東郷平八郎は私が最も尊敬する人物であり続けている。

中央高校の校内には、この作品にまつわるものが二つある。一つは化学実験室入口の壁に埋め込まれた「奮励努力」のプレート。日本海海戦の直前に掲げられたZ旗に込められたメッセージ、「皇国ノ興廃コノ一戦ニアリ 各員一層奮励努力セヨ」からの引用であり、東郷の直筆を写し取ったものである。

もう一つは生徒指導室の壁に掲げられた「聯合艦隊解散ノ辞」である。これは東郷平八郎が日露戦争後におこなった演説の原稿であり、結びの一文「古人曰く、『勝つて兜の緒を締めよ』と」は世界的にも有名である。

東郷平八郎の名前は知っていても、彼が何をした人物なのかを知る中央高校生は少ない。この作品に一度は触れ、彼の偉大さを後の世に伝えていくことは、君たちにしかできない大事な仕事である。心して読んで欲しい。

<ラベル表示>



\* 図書館には、文庫本『坂の上の雲』  
全8巻を所蔵しています。



## 新着書

- 3763ブ 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』  
フレディみかこ 著/新潮社
- 913ア 『背中蜘蛛』 菅田哲也 著/双葉社
- 913ム 『生命式』 村田沙耶香 著/河出書房新社
- 913カ 『ガラスの城壁』 神永学 著/文藝春秋
- 913マ 『人間』 又吉直樹 著/毎日新聞出版
- 913タ 『オートリバース』 高崎卓馬 著/中央公論新社
- 1597ナ 『「ハッピーな部活」のつくり方』  
中澤篤史, 内田良 著/岩波書店
- 913オ 『祝祭と予感』 恩田陸 著/幻冬舎
- 913カ 『氷獄』 海堂尊 著/角川書店
- 2101ヤ 『一度読んだら絶対に忘れない日本史の教科書』  
山崎圭一 著/SBクリエイティブ

## 展示「源氏物語の世界」

2年生の教科書でも取り上げられている紫式部の『源氏物語』。その世界をより深く楽しんでもらうために、『源氏物語』の関連資料とともに平安時代の歴史や文化がわかる図書を展示しています。原文と口語訳、注釈が書かれている古典文学全集や現代文で書かれた図書やマンガで書かれたものもあります。マンガで書かれた『あさきゆめみし』は、一年間をとおして人気のある図書です。この展示を読書や学習に役立てましょう。



# 10月貸出統計

合計 465冊

学年	1年								2年								3年							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
貸出数	28	32	18	20	54	16	12	30	14	14	11	16	11	10	12	11	10	12	30	12	18	10	31	33
合計	210								99								156							

10月の2年生読書調査では、なんと不読者が7割も！

## 注目の一冊！

『まなの本棚』

芦田 愛菜 著

小学館

この本の著者芦田愛菜さんは、現在中学生。女優として活躍中で、大の読書好きとしても知られています。3～4歳から両親に読み聞かせをしてもらい、小学生の頃には、年間120冊ほどを読み、多いときには月に50冊を読んでいたこともあったそうです。現在までに読んだ本は、なんと1,000冊を超えるそうです。「小さいころから両親が図書館から借りて来て、本は身近な存在でした。『なぜ、本を好きになったか』というのを覚えていません。本を読むことは歯磨きや入浴することと同じくらい当たり前の日常なのです」と語っています。

たくさんの本との出会いや、中学生また女優としての日常も見えてくる一冊で、楽しく読み進めることができます。

### 【好きな作家】

- ・江戸川乱歩
- ・赤川次郎
- ・宮部みゆき
- ・恩田陸
- ・ガガ・クリスティー

### 【好きなシリーズ】

- ・小学館の図鑑 NEOシリーズ
- ・宮部みゆき 「ここはボツコニアン」シリーズ

### 【愛読漫画】

- ・吉野源三郎作・羽場翔一画 「漫画版・君たちはどう生きるか」・・・2017年に読んで強い影響を受けたという作品。



## 図書委員会から

読書週間中には、図書展示やワークショップを楽しんでいただけたようです。今後も、皆さんに読書や本に親しむ機会になるような活動を行って行きたいと思えます。図書館をこれからももっと活用してください。

### 図書展示

「菜の場所でまってるよ」



### 読書郵便

「高校時代に感動した本」  
～先生方から中央生へ～



## お願い

○返却期限を過ぎた図書は・・・

**11/25(月)までに必ず返却を！**

○探究学習などのために館内で利用した図書は・・・

**(1) 元の書架へ請求記号どおりに戻す**

**(2) 戻す場所がわからない場合には、必ずカウンターへ返す。**

利用したいのに返却されていない、ラベルの番号順に書架に並んでいないなど、困った状況になりかねません。図書館でのマナーをしっかり守り気持ちよく利用しましょう。

## あとがき

常盤先生お薦めの『坂の上の雲1～8巻』は、カウンターに展示しています。他にも司馬遼太郎の本をたくさん展示しましたので、読んでみましょう。

読書週間中は、展示やイベントなどへの協力や参加ありがとうございました。教室展示は、11月25日(月)まで行います。

読みたくなった本の順位は次のとおりでした。

- 1位 18人 『都会のトムソーヤ』 はやみねかおる
- 1位 18人 『スマホを落とすだけなのに』 志駕晃
- 3位 13人 『七つの会議』 池井戸潤
- 4位 12人 『ナルニア国物語2 ライオンと魔女と衣装だんす』 C.S.ルイス
- 5位 11人 『高校入試』 湊かなえ

\*投票への参加ありがとうございました

先生方からのお薦め本は、生徒の皆さんの「何を読もうかな。」に応えてくれます。今年は、全クラスに印刷してまとめたものを掲示しましたので、教室でゆっくり読むことができたようでした。先生方ご協力ありがとうございました。